

5月になりました。

ちょっと前 アフリカのケニア出身の女性・環境活動でノーベル賞を受賞した「ワンガリ・マータイ」さんが、来日した際「もったいない」という日本語を知り、その言葉の表す意味と精神に感銘を受け「MOTTAINAI」を世界共通の言葉にしようと活動をして下さいました。

おかげ様で「KARAOKE」「TUNAMI」より少し誇らしい世界共通語となりました。

昭和の者にとっては「もったいない」はごく日常的に聞く言葉でした。

長じて環境重視の時代になった昭和の子どもは「リユースやリサイクル」と言う言葉を知る事になりましたが、ちょっとニュアンスの違い？を感じました。が・・・マータイさんがその印象の違いを的確に言い表して下さいました。

「もったいないには 物や自然へのリスペクトが込められている」
確かにそうなんです！！母から「勿体ない事しない！」と諷められる時には、必ず自然の恵みや提供して下さいる方への感謝の念まで思い至る様に言い添えられていました。その心まで伝える言葉が「もったいない」でした。

今月5月31日上高井戸館において「もったいないの心をつなぐ バザー」を行います。「もったいないの心」をつなぎ、さらにその売り上げの一部を南相馬に住む友人たちの地域活動の支援資金と提供します。

まだ使えるお品物のご提供や売上にもぜひご貢献お願いいたします。

ちなみに当団体 プロップKでは人材のリユース(リサイクル)も承っています。

「まだ俺(私)使えるぞ！」とと思っている貴方！

地域には貴方を「もったいない」と思ってくれる誰かがいるかもしれません。

5月31日上高井戸館バザー時に「もったいない僕(私)が来ました」と

プロップロゴ付きのポロシャツを着ているスタッフにそっとお声かけください。

素晴らしい掘り出し物のご提供・・・お待ち申し上げます。

